

平成24年度

施政方針

行政と住民との 協働によるまちづくり 自然満足都市実現に向けて



3月9日に開催された鬼北町議会第1回定例会2日目の冒頭、甲岡町長が「平成24年度施政方針」を述べました。その概要をお知らせします。

施政方針とは、この1年間にどのような施策を行うのか、町の進むべき指針を示すものです。

行財政運営の効率化と健全化に努めます

行財政改革の推進

経常的経費の削減、各種補助事業等の見直しを行うとともに、町有財産の適正な管理運用と有効活用を図ります。事業の民間委託の促進、行政評価システム等の導入検討や事務事業の見直し等を行い、一層の行財政改革を断行し、行財政の健全化に努めます。

また、総人件費の抑制を図るため、定員適正化計画に基づき職員の退職による補充を抑えるなど、職員定数の適正な管理を行いつつ、真に必要な行政サービスのあり方や行政経営の適正化など、常に問題意識をもって仕事に取り組む職員の育成に努めます。

さらに、税収の確保については、課税客体の的確な把握に努めるとともに、徴収体制を強化して、引き続き町税等の未収対策に取り組み、基幹財源の確保に努めます。



参画と協働

住民自治は、行政と住民との情報共有化、住民参加、住民と行政との協働によって実現されます。広報きほく、ホームページ、IP告知放送などを利用して、住民の皆さんへの情報提供に努めます。また、まちづくり懇談会の開催などを通して民意の把握に努め、地域社会への住民参画を促し、まちづくりへの関心を高めながら個性豊かなまちづくりに努めます。